OIC（経営学部・政策科学部）

初修外国語既習者対応プログラム　募集要項

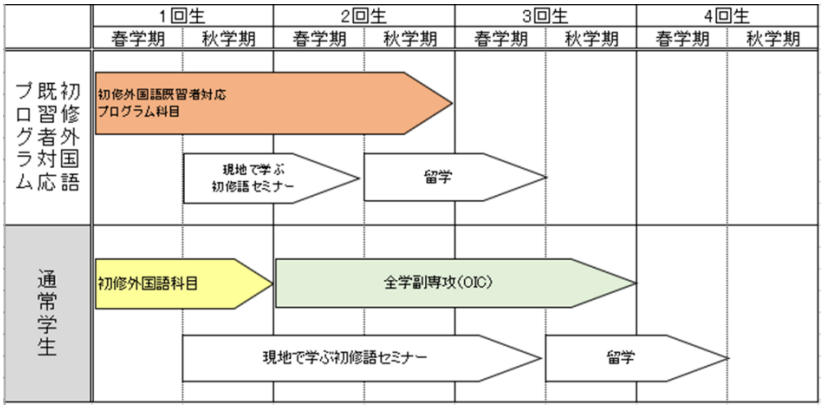
2024年2月　言語教育センター（OIC）

1．意義と目的

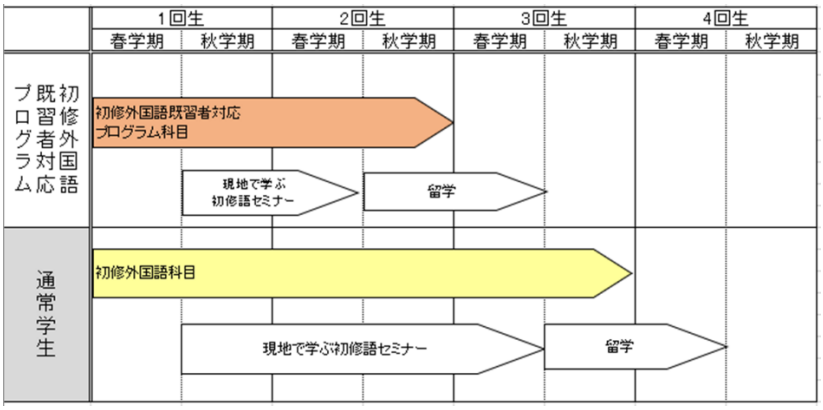
「初修外国語既習者対応プログラム」は、大学入学前に高校の授業や海外生活などで既に初修外国語を学んだ人（既習者）が継続して学習できるよう設定しており、これまで培ってきた力を一層伸ばすことを目的としています。

このプログラムでは、通常の初修外国語履修に代えて、初修外国語の卒業に必要な単位を修得していきます。

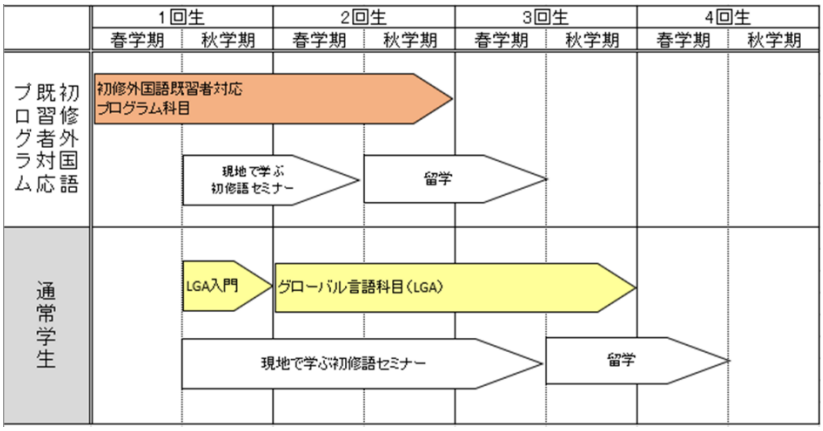
＜履修イメージ＞（経営学部　経営学科　２言語コース）



＜履修イメージ＞（経営学部　国際経営学科　２言語初修重視コース）



＜履修イメージ＞（政策科学部　政策科学専攻）



2. 対象学部・学科

・経営学部（経営学科・国際経営学科）に所属する学生

*経営学科で「2 言語コース」（英語 6 単位、初修外国語 6 単位）を選択した学生が対象となります。

*国際経営学科で「2 言語初修重視コース」（英語 12 単位、初修外国語 18 単位）を選択した学生が対象となります。

・政策科学部（政策科学専攻）に所属する学生

*CRPS 専攻所属学生で希望する者は、政策科学部事務室に相談してください。

学部・学科・専攻・コース			受講資格
経営学部	経営学科	英語コース	×
		2 言語コース	○
	国際経営学科	英語コース	×
		2 言語英語重視コース	×
		2 言語初修重視コース	○
政策科学部	政策科学専攻		○
	CRPS 専攻		※ 政策科学部事務室に相談してください

※総合心理学部・グローバル教養学部の学生は、初修外国語既習者対応プログラムを受講できません。

3. 対象言語

ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・朝鮮語

4. 受講資格

下記の①～③のいずれかに該当する学生

① 高等学校等で、対象言語を授業として履修した者（当該言語について 4 単位相当以上学習した程度が目安）【参考：1 単位は 45 分授業を週 1 回・1 年間学習するものとする】

② 当該言語圏の国・地域で原則として 1 年間以上在住し帰国した者

③ 上記①～②と同等レベルの語学力がある者

※申込時の学習状況アンケートや、必要に応じて面談や電話ヒアリングにより判断します。

5. 受講申込

事前ガイダンス動画

このプログラムを履修するためには、下記の手続きを行ってください。

STEP 1 本募集要項の確認および事前ガイダンス動画を視聴する。

《事前ガイダンス動画はコチラ》https://www.ritsumei.ac.jp/gengo/seika-manabi/kisyu-guidance2024.html/

STEP 2 Web 申込フォームを提出する。【提出締切：3 月 28 日(木)10:00】

《申込フォームはコチラ（下記 URL/QR コード）》

既習者P

https://rw.ritsumei.ac.jp/survey/guest/SVA2FD0.html?key=SUR20231128183123752778095

STEP 3　4月３日(水)のガイダンスに出席する。
！ このガイダンスには履修希望者全員出席してください。

日時:４月３日(水)12:20～12:50
場所：AC241 教室

※ガイダンス時または電話にて適性判断のヒアリングを行います。
※Web 申込フォームで回答した学習状況の内容により適性判断ができない方については、３月 29 日（金）15 時～4 月３日（水）16 時の日程で電話にてヒアリングを行うことがあります。申請者全員に実施されるものではありません。
※電話による適性判断が行われるかどうかは、Web 申込フォームで入力したメールアドレス宛に３月 29 日(金)以降に通知します。

＜その他注意事項＞
初修外国語既習者対応プログラムの申込は、上記の受講資格に該当する言語のみ選択可能です。また、インターネット入学手続き（Ritsu-Mate）での「履修外国語選択」では、初修外国語既習者対応プログラムで受講を希望する言語を選択して下さい（政策科学部の方は「履修外国語選択」はありません）。

6. 既習者認定者発表

日時：2024 年４月３日(水) 18:00
方法：manaba+R でお知らせします

manaba+R とは、立命館大学の学生が使用する学修支援ページです。
大学からの様々な情報が確認できる他、授業のレポートや小テストの提出などに利用します。
※manaba+R へのログインには、個別配布される"Rainbow ID"が必要です。
※manaba+R については、入学後のオリエンテーションで説明があります。

7. 受講登録

通常の学生は、学部事務室が初修外国語科目の受講クラスを指定して受講登録を行います（学生が自分で受講登録を行う必要はありません）が、**初修外国語既習者対応プログラムの受講者は、自分で履修する科目を選択します。各学期の受講本登録期間中に、manaba+R から CAMPUS WEB にログインし、各自で受講登録を行う必要があります。**

３月に公開される初修外国語既習修者対応プログラム時間割を参照し、曜日・時限やシラバス等を確認した上で、履修する科目を決めてください。

※登録方法は、学部事務室から配布される学修要覧や受講登録要項を参照してください。

✓受講登録結果確認
受講登録結果は、「CAMPUS WEB」上の「履修状況確認」で確認できます。受講登録した科目が登録されているか必ず確認してください。

8. 履修科目・履修モデル

＜経営学部＞

■履修科目

- このプログラムでは、通常の学生が履修する初修外国語科目（「〇〇語基礎」、「〇〇語展開」…等）を履修せず、同科目に代えて、既習者対応プログラム用の科目を履修します。
- 既習者科目は以下の 12 科目です。
  （〇〇の部分には、「ドイツ」、「フランス」、「中国」、「スペイン」、「朝鮮」が入ります。）

「〇〇語・異文化コミュニケーション 1」、「〇〇語・異文化コミュニケーション 2」、
「映像・CALL で学ぶ〇〇語 1」、「映像・CALL で学ぶ〇〇語 2」、
「〇〇語で学ぶ文化・社会 1」、「〇〇語で学ぶ文化・社会 2」、
「時事〇〇語 1」、「時事〇〇語 2」、
「〇〇語・比較文化論 1」、「〇〇語・比較文化論 2」
「〇〇語プレゼンテーション 1」、「〇〇語プレゼンテーション 2」

※ 必修初修外国語の要卒単位数（経営学科：６単位、国際経営学科：18 単位）を超えて修得した場合、要卒単位（外国語科目）として単位認定を行います。
※ 卒業に必要な単位数を修得していない場合、次年度に不足分の単位を初修外国語既習者対応プログラム科目で再度履修します。

■履修モデル

以下の履修モデルを参考に、必要単位数の受講計画を立ててください。なお、この履修モデルはあくまでも一例ですので、必ずしもこの履修モデルのとおりに履修しなければいけないというわけではありません。

➢ モデル①【国際経営学科（2 言語初修重視コース）】

３回生時に開講される未修得の科目を履修することも可能です。

	単位	第１セメスター	第２セメスター	第３セメスター	第４セメスター以降
英語	12	英 語　R1　W1　L1　S1 CALL1 留学英語演習 1 （各 1 単位、計 6 単位）	英語 R2 W2 L2 S2 CALL2 留学英語演習 2 （各 1 単位、計 6 単位）		
初修外国語	18 ※	〇〇語で学ぶ文化・社会1 〇〇語・異文化コミュニケーション1 映像・CALLで学ぶ〇〇語1	〇〇語で学ぶ文化・社会2 〇〇語・異文化コミュニケーション2 映像・CALLで学ぶ〇〇語2	時事〇〇語1 〇〇語・比較文化論1 〇〇語プレゼンテーション1	時事〇〇語2 〇〇語・比較文化論2 〇〇語プレゼンテーション2

※上記の初修外国語履修モデルは、必修 18 単位を超えて履修する場合の履修モデルです。

➢ モデル②【経営学科（2 言語コース）】

必修 6 単位を修得した後、さらに履修を継続することが望まれます。3 回生時に開講される未修得の科目を履修することも可能です。

	単位数	第１セメスター	第２セメスター	第３セメスター	第４セメスター以降
英語	6	英語 R1･SW1 （各 1 単位、計２単位）	英語 R2･SW2 （各 1 単位、計２単位）	BusinessEnglishA1 （１単位）	BusinessEnglishA2（１単位）
初修外国語	6 ※	〇〇語で学ぶ文化・社会1 〇〇語・異文化コミュニケーション1 映像･CALL で学ぶ〇〇語 1	〇〇語で学ぶ文化・社会2 〇〇語・異文化コミュニケーション2 映像･CALL で学ぶ〇〇語 2	時事〇〇語1 〇〇語・比較文化論1 〇〇語プレゼンテーション1	時事〇〇語2 〇〇語・比較文化論2 〇〇語プレゼンテーション2

※上記の初修外国語履修モデルは、必修６単位を超えて履修する場合の履修モデルです。

■注意事項

- 初修外国語既習者対応プログラムは、通常の正課初修外国語の必修科目に代えて初修外国語既習者対応プログラムの科目を受講するため、プログラムの辞退はできません。
- 初修外国語既習者対応プログラムの履修者は、２回生春学期から始まる全学副専攻プログラムの履修はできません。

＜政策科学部＞

■履修科目

- 政策科学部では 10 語種を初修外国語として開講していますが、初修外国語既習者対応プログラムでは、「German（ドイツ語）」、「French（フランス語）」、「Chinese（中国語）」、「Spanish（スペイン語）」、「Korean（コリア語）」の５語種のみが対象となります。
- 政策科学部の LGA 各語種の基礎・展開科目を履修せず、同科目に代えて、既習者プログラム用の科目より８単位以上履修します。
- 本プログラムの履修科目は以下の６科目です。
  （〇〇の部分には、「German」、「French」、「Chinese」、「Spanish」、「Korean」が入ります。）

「〇〇・異文化コミュニケーション１」、「〇〇・異文化コミュニケーション２」、 「映像・CALL で学ぶ〇〇1」、「映像・CALL で学ぶ〇〇2」、 「〇〇で学ぶ文化・社会１」、「〇〇で学ぶ文化・社会２」

※　上記既習者科目に加えて、希望者は秋学期に LGA 入門（2 単位）を受講することも可能ですが、LGA 入門は本来、語種を選択するための科目であり、初修外国語既習者対応プログラムの学生は必ずしも受講する必要はありません。（受講を希望する学生は新入生オリエンテーション以降に学びステーションまでご相談ください）

※　要卒単位数（8 単位）を超えて修得した場合、要卒単位（グローバル言語科目（LGA））として単位認定を行います。

※　卒業に必要な単位数を修得していない場合、次年度に不足分の単位を初修外国語既習者対応プログラム科目で再度履修します。

※　既習者プログラムの受講者は、１回生の秋学期（1 月頃）に実施される「語種選択」を行わないでください。本プログラムで選択した語種の学習を継続する必要があります。

■履修モデル

以下の履修モデルを参考に、必要単位数の受講計画を立ててください。なお、この履修モデルはあくまでも一例ですので、必ずしもこの履修モデルのとおりに履修しなければいけないというわけではありません。必修８単位を修得した後、さらに履修を継続することが望まれます。

	単位数	第１セメスター	第２セメスター	第３セメスター	第４セメスター以降
グローバル言語科目（LGA）	８ ※	〇〇語で学ぶ文化・社会1 〇〇語・異文化コミュニケーション1 映像・CALL で学ぶ〇〇語１	〇〇語で学ぶ文化・社会２ 〇〇語・異文化コミュニケーション2 映像・CALL で学ぶ〇〇語２		

※上記の履修モデルは、必修８単位を超えて履修する場合の履修モデルです。

■その他注意事項

- 初修外国語既習者対応プログラムは、LGA 各語種の基礎・展開科目に代えて初修外国語既習者対応プログラムの科目を受講するプログラムのため、プログラムの辞退はできません。

◆初修外国語既習者対応プログラムに関するお問い合わせは下記まで
言語教育センター(OIC)　（A 棟 1F AN 事務室内）平日 10:00-17:00
TEL（072）665-2061
Email　gengooic@st.ritsumei.ac.jp